

平成30年度一般会計決算

○決算の概要

高座清掃施設組合（以下「組合」という。）は、海老名市、座間市及び綾瀬市（以下「構成市」という。）から排出される一般廃棄物の中間処理を広域で行うことを目的として設立され、組合運営に要する経費の大部分は、構成市からの分担金が充てられています。

処理施設の老朽化に伴い、平成26年度に水処理施設、平成30年度にごみ処理施設を更新しました。また、組合周辺環境の調和を目的として、周辺環境整備事業（公園整備）を遂行しています。組合の平成30年度一般会計決算額は、歳入総額が11,504,123,838円、歳出総額が10,889,650,649円となりました。

歳入歳出差引額は614,473,189円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は595,207,589円となりました。

前年度に対し歳入歳出決算額が増額した主な理由は、新ごみ処理施設整備・運営事業及び周辺環境事業の進捗によるものです。

(単位：円)				
	平成30年度 (a)	平成29年度 (b)	年度比較 (a) - (b)	対前年度 伸 率
歳入総額 (A)	11,504,123,838	8,675,694,359	2,828,429,479	32.6%
歳出総額 (B)	10,889,650,649	8,269,291,125	2,620,359,524	31.7%
差引額 (A) - (B) (C)	614,473,189	406,403,234	208,069,955	51.2%
翌年度へ繰越すべき財源 (D)	19,265,600	9,390,200	9,875,400	105.2%
実質収支 (C) - (D) (E)	595,207,589	397,013,034	198,194,555	49.9%
単年度収支 (F)	198,194,555	62,275,169	135,919,386	218.3%
繰上償還額 (G)	0	0	0	—
実質単年度収支 (F) + (G)	198,194,555	62,275,169	135,919,386	218.3%

○歳入決算概要

歳入決算額11,504,123,838円は、対平成29年度（以下「対前年度」という。）2,828,429,479円（32.6%）の増額となりました。

分担金1,681,270,000円は、対前年度436,533,000円（20.6%）の減額となりました。

主な理由は、運営費分担金が、平成30年度末のごみ処理施設更新完了を見据え既存ごみ処理施設の維持補修費を抑制したことにより、対前年度589,636,000円（30.4%）の減額、建設費分担金は、新ごみ処理施設整備・運営事業の進捗に伴い106,420,000円（126.2%）の増額、周辺環境整備費分担金は、周辺環境整備事業の進捗に伴い対前年度46,683,000円（73.9%）の増額となりました。

衛生手数料465,739,250円は、対前年度21,008,000円（4.7%）の増額となり、構成市の事業系可燃物処理に伴う事業系一般廃棄物処理手数料は、平成22年度から8年続けて増額となりました。

国庫支出金2,895,325,000円は、対前年度1,245,354,000円（75.5%）の増額となりました。

ごみ処理施設更新に充てる衛生費国庫補助金（厚木飛行場等周辺ごみ処理施設設置補助金）732,047,000円は、対前年度69,586,000円（10.5%）の増額、周辺環境整備事業に充てる土木費国庫補助金（厚木飛行場周辺公園設置補助金）55,053,000円は、対前年度106,022,000円（65.8%）の減額となり、交付金（循環型社会形成推進交付金）2,108,225,000円は、ごみ処理施設更新に充てるもので、対前年度1,281,790,000円（155.1%）の増額となりました。

平成27年度から進めていたごみ処理施設建設工事は、予定の工期どおりに竣工の運びとなり、平成31年4月から本格稼働に移ります。なお、土木費国庫補助金のうち1,689,000円は、繰越財源充当額です。

県支出金は、ごみ処理施設更新に充てる神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金300,000,000円となり、対前年度27,693,000円（10.2%）の増額となりました。

繰越金406,403,234円は、対前年度27,053,969円（7.1%）の増額となりました。

純繰越金は397,013,034円、対前年度62,275,169円（18.6%）の増額、継続費繰越金は4,903,200円、対前年度4,878,800円（19,995.1%）の増額となり、繰越明許費繰越額は4,487,000円、対前年度40,100,000円（89.9%）の減額となりました。

諸収入29,898,139円は、対前年度29,438,860円（6,409.8%）の増額となりました。増額の主な理由は高効率ごみ発電施設電気工事負担金の返金によるものです。

組合債5,724,900,000円は、対前年度1,914,400,000円（50.2%）の増額となりました。

衛生債は、ごみ処理施設更新に充てるもので5,637,300,000円となり、対前年度2,074,400,000円（58.2%）の増額、土木債は周辺環境整備事業及び組合周辺道路等整備事業に充てるもので87,600,000円となり、対前年度160,000,000円（64.6%）の減額となりました。なお、土木債のうち5,900,000円は、繰越財源充当額です。

△印 減額(単位：円)					
款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳入決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 分担金及び負担金	1,681,270,000	0	1,681,270,000	1,681,270,000	100.0%
2. 使用料及び手数料	405,461,000	0	405,461,000	466,327,465	115.0%
3. 国庫支出金	2,908,777,000	1,689,000	2,910,466,000	2,895,325,000	99.5%
4. 県支出金	300,000,000	0	300,000,000	300,000,000	100.0%
5. 繰越金	200,000,000	206,403,200	406,403,200	406,403,234	100.0%
6. 諸収入	355,000	0	355,000	29,898,139	8,422.0%
7. 組合債	5,739,300,000	5,900,000	5,745,200,000	5,724,900,000	99.6%
歳入合計	11,235,163,000	213,992,200	11,449,155,200	11,504,123,838	100.5%

○歳出決算概要

歳出決算額10,889,650,649円は、対前年度2,620,359,524円（31.7%）の増額となりました。

歳出の概要としては、施設を安定的稼働するため維持補修費、処理施設の更新に伴う普通建設費、処理施設更新に伴い借入れた組合債の元利金償還に償還に伴う公債費等です。歳出の目的別考察は、次のとおりです。

議会費1,034,270円は、対前年度55,071円（5.1%）の減額となりました。支出額の主なものは、議員報酬922,750円及び議会議事録作成に伴う速記事務（委託料）101,520円です。

総務費410,922,093円は、対前年度4,983,212円（1.2%）の増額となりました。支出額の大半は人件費198,567,125円となっています。その他の支出の主なものは、固定資産税相当分等として海老名市への交付金及び施設更新に伴う構成市からの派遣職員に対する構成市への交付金等として97,401,944円、最終処分場等土地借料34,180,766円です。

民生費23,963,424円は、対前年度63,762円（0.3%）の減額となりました。支出額の主なものは、本郷老人福祉センター指定管理料23,924,808円です。

衛生費10,109,058,037円は、対前年度2,898,508,689円（40.2%）の増額となりました。増額した主な理由としては、ごみ処理施設更新に伴い既存施設の維持管理費用（工業薬品、焼却灰処理及び施設修繕等）を計上する塵芥処理費が対前年度567,792,347円（47.0%）減額しましたが、最終年度を迎えた新ごみ処理施設整備・運営事業 設計建設工事請負を計上するごみ処理施設建設費が対前年度3,523,282,882円（65.7%）増額したことにより衛生費全体としては増額しています。支出額の主なものは、新ごみ処理施設整備・運営事業 設計建設工事請負が対前年度3,503,952,000円（66.0%）増額の8,811,072,000円、焼却灰等の処理に伴う一般廃棄物処理287,149,139円、施設課職員の人件費442,214,253円です。

土木費150,382,247円は、対前年度323,485,670円（68.3%）の減額となりました。減額した理由としては、（仮称）本郷公園（第一工区）用地の98%の用地取得が前年度に完了したことにより、公園用地代3,729,320円（対前年度353,079,982円、99.0%の減）及び建物等補償費5,693,787円（対前年度88,441,563円、94.0%の減）となり、本年度の新たな事業として、（仮称）本郷公園（第一工区）整備工事76,604,400円、（仮称）本郷公園（第一工区）整備工事及び杉久保雨水幹線工事に関する協定に基づく交付金53,219,258円となりましたが、全体としては減額しています。

教育費121,181,838円は、対前年度657,600円（0.5%）の減額となりました。支出額の主なものは、屋内温水プール修繕費26,391,960円、高座施設組合屋内温水プール指定管理料94,015,728円です。

公債費73,108,740円は、対前年度41,129,726円（128.6%）の増額となりました。増額した理由としては、新ごみ処理施設建設に伴う元利金償還が対前年度28,378,995円（1,497.0%）増額、公園整備に伴う元利金償還が対前年度12,908,243円（425.4%）増額したことによるものです。

△印 減額(単位：円)					
款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳出決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 議会費	1,259,000	0	1,259,000	1,034,270	82.2%
2. 総務費	429,168,000	7,663,200	436,831,200	410,922,093	94.1%
3. 民生費	24,199,000	0	24,199,000	23,963,424	99.0%
4. 衛生費	10,341,005,000	7,440,000	10,348,445,000	10,109,058,037	97.7%
5. 土木費	188,648,000	12,076,000	200,724,000	150,382,247	74.9%
6. 教育費	125,070,000	0	125,070,000	121,181,838	96.9%
7. 公債費	95,814,000	0	95,814,000	73,108,740	76.3%
8. 予備費	30,000,000	186,813,000	216,813,000	0	0.0%
歳出合計	11,235,163,000	213,992,200	11,449,155,200	10,889,650,649	95.1%

決算収支(過去5年間)

(単位:円)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳入	3,638,422,974	3,458,981,666	6,133,422,199	8,675,694,359	11,504,123,838
1. 分担金及び負担金	2,602,377,000	2,182,984,000	2,478,690,000	2,117,803,000	1,681,270,000
2. 使用料及び手数料	468,911,741	406,025,380	407,702,534	445,304,815	466,327,465
3. 国庫支出金	5,691,000	173,981,000	708,482,000	1,649,971,000	2,895,325,000
4. 都道府県支出金	11,700,000	20,064,000	152,432,000	272,307,000	300,000,000
5. 財産収入	0	0	0	0	0
6. 繰越金	476,506,093	466,934,265	303,376,691	379,349,265	406,403,234
7. 諸収入	1,837,140	893,021	838,974	459,279	29,898,139
8. 組合債	71,400,000	208,100,000	2,081,900,000	3,810,500,000	5,724,900,000
歳出	3,171,488,709	3,155,604,975	5,754,072,934	8,269,291,125	10,889,650,649
1. 人件費	748,512,395	723,658,532	690,997,538	645,678,725	641,704,128
2. 扶助費	6,285,000	5,410,000	5,065,000	5,060,000	4,815,000
3. 公債費	141,242,029	129,608,490	38,773,437	31,979,014	73,108,740
4. 普通建設事業費	95,739,510	434,072,324	3,178,335,256	5,824,891,832	9,067,623,775
5. 災害復旧事業費	0	0	0	0	0
6. 物件費	1,143,906,971	1,022,219,110	992,933,401	994,358,178	764,876,712
7. 補助費等	125,563,836	103,459,528	155,556,996	123,027,172	164,819,602
8. 維持補修費	910,238,968	737,176,991	692,411,306	644,296,204	172,702,692

○歳出の性質別考察

1 義務的経費

義務的経費719,627,868円は、対前年度36,910,129円(5.4%)の増額となりました。主な支出は、人件費と公債費です。

(1) 人件費

人件費641,704,128円は、対前年度3,974,597円(0.6%)の減額となりました。減額の理由は、職員数が減となったこと等のための職員給の減額等によります。

(2) 扶助費

扶助費4,815,000円は、対前年度245,000円(4.8%)の減額となりました。支出内容は、職員に対する児童手当です。

(3) 公債費

公債費73,108,740円は、対前年度41,129,726円(128.6%)の増額となりました。増額の理由は、新ごみ処理施設建設に伴う元利金償還が対前年度28,378,995円(1,497.0%)増額、公園整備に伴う元利金償還が対前年度12,908,243円(425.4%)増額したことによるものです。

2 投資的経費

投資的経費9,067,623,775円は全額普通建設事業費となり、対前年度3,242,731,943円(55.7%)増額しています。

増額の理由は、新ごみ処理施設整備・運営事業設計建設工事請負が最終年度となり、8,811,072,000円、対前年度3,503,952,000円(66.0%)の増額によるものです。

3 その他

(1) 物件費

物件費764,876,712円は、対前年度229,481,466円(23.1%)の減額となりました。減額の理由は、衛生費のうち清掃総務費及び塵芥処理費において、ごみ処理施設更新に伴い既存施設の管理運営費(消耗品費、光熱水費、委託料、使用料及び賃借料等)の減少によるものです。

(2) 補助費等

補助費等164,819,602円は、対前年度41,792,430円(34.0%)の増額となりました。増額の理由は、公園整備に伴う海老名市水路改修に対する負担金によるものです。

(3) 維持補修費

維持補修費172,702,692円は、対前年度471,593,512円(73.2%)の減額となりました。減額の理由は、ごみ処理施設更新に伴い既存施設の修繕計画の見直し等によります。

○廃棄物等の搬入概要

平成30年度の構成市全体の人口は、平成31年3月1日現在347,164人で、対前年度2,026人(0.6%)の増加となりました。

平成30年度の構成市からのごみ搬入量74,978.30tは、対前年度501.17t(0.7%)の増量となりました。内訳は、家庭系可燃物54,160.79tが対前年度427.87t(0.8%)の減量、不燃物1,082.79tが対前年度129.84t(10.7%)の減量、粗大ごみ1,105.15tが対前年度218.56t(24.7%)の増量、事業系可燃物18,629.57tが、対前年度840.32t(4.7%)の増量となりました。

また、粗大ごみ処理施設に搬入された不燃物等搬入量(不燃物搬入量と粗大ごみ搬入量の計)2,187.94tの5.82%に相当する127.243tの機械破碎前の非鉄金属(アルミニウム等の有価物)及び鉄分(磁性物)並びに機械破碎後の鉄分が資源化物として回収されました。

平成30年度の構成市からのし尿搬入量11,246.6klは、対前年度674.0kl(5.7%)の減量となりました。内訳は、生し尿1,612.6klが、対前年度344.3kl(17.6%)の減量、浄化槽汚泥9,634.0klが、対前年度329.7kl(3.3%)の減量となりました。

◎構成市の人口

区分	平成30年度	平成29年度	増減	伸率
海老名市	132,892人	131,458人	1,434人	1.1%
座間市	129,929人	129,411人	518人	0.4%
綾瀬市	84,343人	84,269人	74人	0.1%
計	347,164人	345,138人	2,026人	0.6%

◎ごみ搬入状況

区分	平成30年度	平成29年度	増減	伸率
家庭系可燃物	54,160.79t	54,588.66t	△ 427.87t	△ 0.8%
不燃物	1,082.79t	1,212.63t	△ 129.84t	△ 10.7%
粗大ごみ	1,105.15t	886.59t	218.56t	24.7%
事業系可燃物	18,629.57t	17,789.25t	840.32t	4.7%
計	74,978.30t	74,477.13t	501.17t	0.7%

◎し尿搬入状況

区分	平成30年度	平成29年度	増減	伸率
生し尿	1,612.60kl	1,956.90kl	△ 344.30kl	△ 17.6%
浄化槽汚泥	9,634.00kl	9,963.70kl	△ 329.70kl	△ 3.3%
計	11,246.60kl	11,920.60kl	△ 674.00kl	△ 5.7%

○付帯施設の利用概要

付帯施設(余熱利用施設)である本郷老人福祉センター及び屋内温水プールは、平成18年度から指定管理者制度を導入しています。

現在の指定管理者 FunSpace・オーチュー運営企業体
指定期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

平成30年度の本郷老人福祉センターの利用件数 257件は対前年度 5件(1.9%)の減、利用人数 7,456人は、対前年度 152人(2.0%)の減となりました。

利用者内訳は、海老名市が 4,066人、座間市が 1,273人、綾瀬市が 2,117人となりました。

平成30年度の屋内温水プール利用者人数は 145,169人、対前年度 3,836人(2.7%)の増となりました。

平成5年度に開館した屋内温水プール利用者累計は、平成31年3月末日現在で 3,394,016人(男性 1,729,284人：女性 1,664,732人)となりました。

◎本郷老人福祉センター利用状況

		平成30年度		平成29年度		利用者数比較	
		利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	増減	伸率
海老名市	男性	2,167人	146件	2,016人	144件	151人	7.5%
	女性	1,899人		2,011人		△ 112人	△ 5.6%
	計	4,066人		4,027人		39人	1.0%
座間市	男性	518人	48件	559人	53件	△ 41人	△ 7.3%
	女性	755人		861人		△ 106人	△ 12.3%
	計	1,273人		1,420人		△ 147人	△ 10.4%
綾瀬市	男性	1,038人	63件	1,000人	65件	38人	3.8%
	女性	1,079人		1,161人		△ 82人	△ 7.1%
	計	2,117人		2,161人		△ 44人	△ 2.0%
合計	男性	3,723人	257件	3,575人	262件	148人	4.1%
	女性	3,733人		4,033人		△ 300人	△ 7.4%
	計	7,456人		7,608人		△ 152人	△ 2.0%

◎屋内温水プール利用状況

区分	平成30年度	平成29年度	増減	伸率
男性	75,993人	74,267人	1,726人	2.3%
女性	69,176人	67,066人	2,110人	3.1%
計	145,169人	141,333人	3,836人	2.7%

令和元年度執行状況(令和元年9月30日現在)

歳入 (単位:円)

款	予算現額	収入済額	執行率
1. 分担金及び負担金	1,428,747,000	679,252,000	47.5%
2. 使用料及び手数料	399,671,000	186,014,450	46.5%
3. 国庫支出金	169,698,000	0	0.0%
4. 県支出金	17,655,000	0	0.0%
5. 繰越金	219,265,600	614,473,189	280.2%
6. 諸収入	428,000	1,203,949	281.3%
7. 組合債	216,200,000	0	0.0%
歳入合計	2,451,664,600	1,480,943,588	60.4%

歳出 (単位:円)

款	予算現額	支出済額	執行率
1. 議会費	1,220,000	328,849	27.0%
2. 総務費	364,031,000	98,456,821	27.0%
3. 民生費	24,630,000	10,007,737	40.6%
4. 衛生費	1,315,222,000	376,823,174	28.7%
5. 土木費	441,231,600	50,011,648	11.3%
6. 教育費	120,435,000	36,479,034	30.3%
7. 公債費	154,895,000	36,747,502	23.7%
8. 予備費	30,000,000	0	0.0%
歳出合計	2,451,664,600	608,854,765	24.8%

令和元年度高座清掃施設組合の当初予算は、24億3,239万9千円でしたが、前年度から繰り越された通次繰越額1,802万5,600円及び繰越明許費繰越額124万を加え、24億5,166万4,600円となりました。

令和元年9月30日現在の予算現額に対する執行状況は、歳入予算について、収入済額 14億8,094万3,588円・執行率 60.4%、歳出予算について、支出済額 6億885万4,765円・執行率 24.8%となっています。

歳入予算の執行率が低い主な理由は、周辺環境整備事業に係る国庫支出金、県支出金及び組合債の未収です。これらの特定財源は、完了後において、実績報告等の手続きを経て入金される予定です。

歳出予算の執行率が低い主な理由は、周辺環境整備事業等施工中のもの及び支出が年度末となっている契約案件が多いためです。なお、9月末における支出負担行為額は 10億5,964万2,876円、負担行為済執行率は43.2%です。

財産などの状況(令和元年9月30日現在)

組合債現在高(令和元年9月30日現在) (単位:円)

区分	平成31年3月31日 現在高	平成31年4月1日～令和元年9月30日		令和元年9月30日 現在高
		借入額	元金償還額	
一般廃棄物処理事業債	9,197,268,398	69,000,000	20,587,353	9,245,681,045
ごみ処理施設建設債	8,938,100,000	69,000,000	7,970,089	8,999,129,911
し尿処理施設建設債	259,168,398	0	12,617,264	246,551,134
一般補助施設整備等事業債	165,900,000	1,237,400,000	0	1,403,300,000
ごみ処理施設建設債	165,900,000	1,237,400,000	0	1,403,300,000
公共事業等債	130,413,245	23,300,000	3,885,582	149,827,663
公園整備事業債	130,413,245	23,300,000	3,885,582	149,827,663
一般事業債	152,048,000	6,800,000	4,284,500	154,563,500
公園整備事業債	152,048,000	6,800,000	4,284,500	154,563,500
地方道路等整備事業債	0	21,500,000	717,000	20,783,000
周辺道路整備事業債	0	21,500,000	717,000	20,783,000
神奈川県市町村振興資金貸付金	1,040,947,222	0	0	1,040,947,222
ごみ処理施設建設債	1,038,147,222	0	0	1,038,147,222
公園整備事業	2,800,000	0	0	2,800,000
計	10,686,576,865	1,358,000,000	29,474,435	12,015,102,430

財産(令和元年9月30日現在) (単位:m²)

区分	土地	建物(延床面積)
清掃処理場	56,871.83	33,079.77
本郷老人福祉センター	2,592.47	779.09
埋立処分地	5,137.71	453.23
本郷ふれあい公園	11,283.42	0.00
計	75,885.43	34,312.09

清掃処理場は、し尿処理施設、旧ごみ処理施設、新ごみ処理施設、事務所(緩衝緑地帯を含む)及び車庫、屋内温水プールの土地面積及び建物延床面積を合わせたものです。

今後について、清掃処理場は、処理施設更新完了により旧施設及び事務所解体に伴う建物(延床面積)の減少が見込まれます。

また、本郷ふれあい公園は、第二工区の用地購入による土地の増加、第一工区及び第二工区の竣工による建物(延床面積)の増加が見込まれます。